

今回、土木部の若手職員を対象にアンケートを実施しました。就職活動を経て、茨城県庁に入庁後どのように変わったのか、職員の声を紹介します。

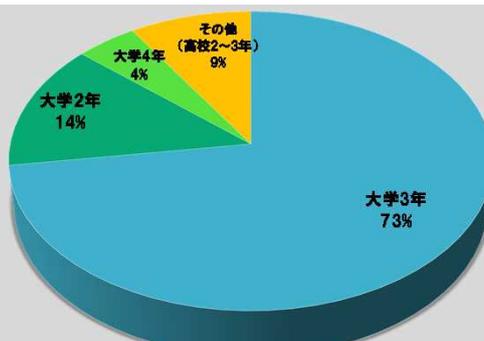
### 土木部 若手職員アンケート①

今回、33名にご協力頂きました。

Q1 就職活動では茨城県庁の他にどのような所を受けましたか？



Q2 いつから公務員試験の対策を始めましたか？



Q3 入庁前と比べて県職員や仕事へのイメージに変化はありましたか？

- 現場の仕事だけではなく、意外と事務作業や連絡調整などのデスクワークが多い。
- 本庁と出先事務所の仕事内容のギャップに驚いた。
- 入庁前は厳しいイメージだったが、職場は風通しがよく、仕事は複数で協力して行うことが多かった。
- 「公務員」に堅いイメージを持っていたが、思っていたよりもフランクでメリハリのある職場だった。
- 周囲の先輩が丁寧に教えてくれるので、安心して仕事ができる。

Q4 入庁後、成長したと思うことはありますか？

コミュニケーション  
・対応力

- ・職員同士だけでなく、建設業者や地域の人とのコミュニケーションをとることが多い。
- ・説明する力がついた。

調整力

- ・多くの関係者と調整することが多い。
- ・業務の優先順位を決めて作業に取り組むようになった。
- ・スケジュール感を意識するようになった。

責任感

- ・責任をもって行動できるようになった。
- ・県職員である自覚を持ち、行動するようになった。

知識

- ・実際に工事に関わることで専門的な知識が深まった。
- ・市町村の地名や位置について以前より詳しくなった。

その他

- ・どんなことにも挑戦できるようになった。
- ・忍耐力がついた。
- ・今までよりも物事について深く考えるようになった。

次回は、引き続き土木部若手職員アンケート②を紹介します。